

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県緑化センター				
指定管理者		山梨県造園建設業協同組合		所管課	みどり自然課	
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日				
施設の使命・役割(運営目標)		県民の緑に対するニーズに対応した「身近な緑づくりの拠点」と「緑の環境教育の拠点」の機能を併せ持ち本県の緑化推進の中心的役割を果たす中で、広く県民に開かれた施設として、緑に親しみ、学べる場を提供し、緑化に対する普及啓発、県民意識の高揚等に寄与すること。				
指定管理者が行う業務		施設の維持管理業務 施設の運営業務 緑化に関する普及・啓発に関する業務 その他知事が必要とみとめる業務				
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価 「山梨県緑化センター管理業務仕様書」に基づき適正な管理を行った。		施設所管課の評価・指導内容 概ね適正な業務内容であった。 点検管理等の実施状況については、確実に記載し、説明できる状態としておくこと。		
運営業務の評価		指定管理者の自己評価 来園者数が昨年を上まわり、予定の事業も完遂した。また本年度は樹木医一名を補充し、多様化する緑化相談内容に対処するとともに、要請により、学校教育(総合学習)で植物についての学習会等を行うなど、成果があったと評価している。今後も学校教育等で指導できる機会があれば対処していきたい。		施設所管課の評価・指導内容 来園者数、緑の教室等の利用者数が増加するなど、評価できる内容であった。 いくつかある課題の克服、新たなチャレンジ、広報活動の工夫等に努め、県民の緑への関心の高まりを望む。		
自主事業の評価		指定管理者の自己評価 4月の山梨グリーンフェア、10月の緑の感謝祭を2大イベントとし、展示会・コンテスト等9回の自主事業を開催した。多くの県民の皆様に来園して頂き、緑化の推進、啓蒙に寄与していると評価している。		施設所管課の評価・指導内容 グリーンフェアなどの定着したイベントに続き、緑化センターの存在感を向上できるように、さらなる工夫を望む。		
利用者満足度調査	調査結果	満足度 総合的な満足度:94% 樹木展示、職員の接客・サービス:満足度94% 緑の教室:満足度97% 緑サポーター養成研修:100% 植木市・展示会等自主事業:満足度91%		利用者の声 「地球を救うためにも緑の働きが大切だと感じます。地球温暖化対策の啓発活動の拠点として、緑化センターは重要な場所だと思います」 「緑の教室」が多彩な内容で、とても勉強になります。」 「植木市や展示会等いろいろイベントがあって、とても楽しみにしています。」など。		
	評価	指定管理者の自己評価 今後来園者の貴重な意見を頂き、改善すべき点は改善していく。また、県内の緑の拠点として多くの皆様にご利用頂き、緑化に関する活動を促進するべく情報を発信していきたい。		施設所管課の評価・指導内容 満足度は軒並み高い水準である。 これに満足することなく、常にチャレンジ精神の発揮、細部にわたる心遣いに努め、よりよい緑化の拠点としての機能の発揮を望む。		
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
	評価	33,801	22,000	34,606	23,000	
		指定管理者の自己評価 ここ3年間の来園者実績を比較すると、平成18年度31,802名、平成19年度33,801名、平成20年度34,606名と増加傾向にある。まだまだ緑化センターの存在自身を知らない県民の皆様がたくさんいる。今後も新しい企画にチャレンジする中で、知名度を高め利用者増加を図っていきたい。		施設所管課の評価・指導内容 利用者数は順調に推移しているが、天候にも左右されるなど不確定要素も大きいことから、県民に訴える事業の内容の充実、広報活動の工夫等を望む。		
収支の状況	科目		H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)
	収入	利用料金収入			0	
		指定管理料	48,054,000	48,054,000	0	48,054,000
		その他収入			0	
	計		48,054,000	48,054,000	0	48,054,000
	支出		48,054,000	46,781,304	1,272,696	48,054,000
差し引き(収入-支出)		0	1,272,696		0	
評価		指定管理者の自己評価 組合員の大きなバックアップにより予算の範囲内で管理運営及び自主事業等が出来、良い成果が出た。また施設の設備部等については、日常の点検整備に努め修理費については最小限にとどめられた。		施設所管課の評価 個別の支出項目について、計画と実績の差異が生じている項目があることから、これらの内容について精査し、綿密な計画を策定すること。		
施設の運営目標の達成状況		施設の運営目標指標は目標を大きく上回り、増加している。				
総合的な評価及び改善事項		全般的に概ね適切な管理運営が行われている。 管理運営状況を第三者に説明できるような状態としておくこと、また、現状に満足することなく、課題の解消、新たなチャレンジ、広報活動の工夫に努め、緑化センターの存在感の向上については県民の緑への関心の高まりを望む。				